

令和2年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

議事要旨

1. 議事

(審議)

- (1) 渋滞対策の進捗と効果・影響について
- (2) 今後の渋滞対策について

(報告)

- (1) コロナ禍の交通影響分析について
- (2) 道路交通アセスメント制度について
- (3) 路上荷捌きに起因する渋滞対策について

2. 議事要旨

- ・ 前回以降の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・ 国道1号静岡バイパス全線4車線化開通、伊豆中央道江間交差点立体化など、実施した渋滞対策の効果・影響を確認した。
- ・ 国道1号安新歩道橋交差点の渋滞対策について、進捗状況や対策案について確認した。
- ・ 国道1号長沼交差点は、国道1号が静岡市中央部の主要東西軸として交通が集中しており、交差する(主)山脇大谷線においては、南北交通が鉄道や地域幹線との交差により滞留し、これにより曲がりきれない国道1号の左折交通が直進交通の渋滞を悪化させており、渋滞損失時間が静岡県内ワースト1であることなどを踏まえ、対策を検討することを確認した。
- ・ 国道139号西富士道路広見IC北進オフランプは、利用交通の主方向にある岳陽中東交差点と渋滞が一体化していることを踏まえ、(都)本市場大淵線と一体となった対策・効果を検討すること、短期的なソフト対策として、時間分散の呼びかけを実施することを確認した。
- ・ 国道1号南安倍交差点～手越原交差点は、国道1号静岡バイパスなどの開通後においても速度低下が残存していることを踏まえ、従道路を含め、渋滞、事故、ヒヤリハットの発生状況の分析を進めることを確認した。
- ・ 国道138号須走道路・御殿場バイパス(西区間)が令和2年度に開通予定であり、開通により国道138号現道の渋滞緩和が期待されることを確認した。
- ・ 沼津河川国道事務所HPで紹介している伊豆半島における時間・経路分散施策の基となる速度データについて、ETC2.0プローブデータにより更新することを確認した。